

製品名: ARPP-21 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07164**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	ARPP21
別名	ARPP21; TARPP; cAMP-regulated phosphoprotein 21; ARPP-21; Thymocyte cAMP-regulated phosphoprotein
遺伝子 ID	10777.0
SwissProt ID	Q9UBL0
免疫原	抗血清はヒト ARPP21 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

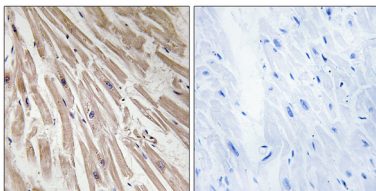
この遺伝子は cAMP 調節性リン酸化タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は尾状核と小脳皮質に豊富に存在

します。マウスの類似タンパク質は、基底核におけるドーパミンの作用制御に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 6 月]、機能: アイソフォーム 2 は、ニューロンにおいてカルシニューリンなどのカルモジュリン依存性酵素の競合的阻害剤として作用する可能性があります。、PTM: アイソフォーム 1 は、未熟胸腺細胞において CARM1 によってメチル化されます。、PTM: Ser-56 のリン酸化は CALM1 との相互作用を促進します。、類似性: 1 つの R3H ドメインを含みます。、サブユニット: CALM1 と相互作用します。、組織特異性: アイソフォーム 2 は脳で発現します。アイソフォーム 1 は未熟な胸腺細胞に存在します (タンパク質レベル)。

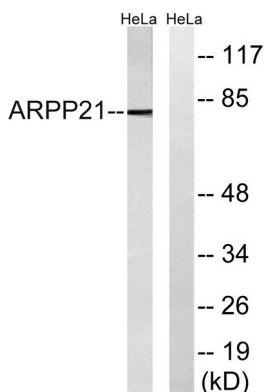
研究分野

-

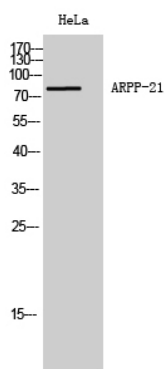
画像データ



ARPP21 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ARPP21 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ARPP-21 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析